44

3-1531

0292

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

海外商報掲載濟
昭和2年2月12日
第726号

門3
類2
項
號

海外商報掲載濟
昭和2年2月12日
第476号

海外商報

通商局
第二課

附属書添附

一昭和貳年壹月拾貳日接受

第九八号

左ノ如ク大正十五年十二月十七日

昭和二年貳月拾七日記錄係接受

左ノ如クナレ

昭和貳年二月九日 記錄係接受

領事代理到領事 上海仲一

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

仮高等ノ件及差報

南京報告ノ件

本件ニ関スル別紙報告一通高州事情ヲ四等

トシテ中支ヲ中心ニ選ス

館事領

3-1531

0293

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

後高加索ノ牧畜及養蠶

戸ノ項　牧畜

一、總說

後高加索ノ中央ヲ横断スルクーラ河流域及海岸地方ハ牧場ノ

ヲ作リ一帶ノ山岳高原ニ農耕ニ適セサル土地大部分ヲ占ヨリ居ルニ依リ往古ヨリ牧畜ノ高加索住民ノ最モ重要ナル生業トナツテ居ル。牧畜ノ山地ノ半トテ夏ノ隔地ニ冬ノ低地ニト夏ヲ支ヘテ放牧スルヲ普通トシ夏期及冬期ノ二種ニ区別セラレテ

居ル。冬期牧場ハ地方毎ニテキヒラリ平坦ノ冬ノ夏又ラリノ宿所ノ高ノト称セラレ夏期牧場ハ工イラグト称セラレテ居ル。冬期牧場ハ高サ水面上二千乃至二千五百呎ヲ限度トシ冬季ニ於テモ積雪稀ニシテ耕作ニハ適セザルモ放牧ニハ事欠カザル土地ニセラレ殊ニ秋ノ両期後蕃殖ノ飼育ニ適スル雑草繁茂スル地方ヲ最モ好トセラレテ居ル。夏期牧場ハ高山ナルモ若干ノ耕作ニハ不便ナルモ青草繁茂スル土地ガ選ハレテ居ル。夏期高加索アルプス地方ニ入ル時ハ人間ヲ登攀スルニ困難ヲ覚ユル峻嶮ナル

3-1531
0294
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

斷崖ノ牛羊ノ群ガ青草ヲ塗リツヽアルヲ見ル。

夏期牧場ノ總面積ハ後面ガ第倉庫ニテ百五十万坪

七千デシャチン

冬期牧場ハ百二十九万八千デシャチン

ニ及ビ中夏期牧場面積ノ最モ大ナルハジョーシャノ五

ナハ夢ノ千デシャチンニシテアルナニヤノ五十七万

千デシャチンニ及ブベキジャノ四十万七千デシャ

チンニ次ギ冬期牧場ハアルベキジャノ四十万

九千デシャチンヲオトシ次ギノ二十一万四千デ

シャチンニ及ブナニヤノ十七万五千デシャチンノ順トナ

ル居ル。

蓋シジョーシャヤ及アルナニヤハ山地ノ幸トテ夏期牧場

ニ適セル面積多キモ冬期牧場ニ五レリ反之イヒルベキ

ハイノ一般ニ不毛ノ砂地及草原多ク耕作ニハ不適

當ナルモ冬期牧場トシテ利用セラルル面積ハ最モ広

イ。デアル。

斯ノ如ク牧畜ハ高ガ第山岳地方ノ住民ノ主ナル

生業ニシテ今ヤ之ニ代ルモノ無ク産業ナルノ降

テ牧畜ノ振興ハ後高ガ産業ノ発展ニ緊要ナル問題

ヲ有シ現在後高当局者和國政府ノ重要ナル内懸トナ

ル居ル。

3-1531

0295

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

牧畜ノ

後者ノ牧畜ハ全ク牧畜ノ程度ニ於テ牛馬騾馬羊山羊駱駝等多数ニ亘リテ飼養ノ数ニ於テ一位ヲ占ムル牛アリ。

牛ハ専ラ農耕ニ用ヒラルルモノナルト共ニ運搬車用トシテモ広ク使役セラレテ居ル。

其他牛乳搾乳製出産ノ為ニモ飼育セラレテ居ル事ハ勿論ナリ。後者ノ事ハ常ニ於テハ中酪及乾酪ノ品質ノ優秀ナル点ニ於テ殊ニ乾酪ハ財政所用ヘ多数ノ輸出ガアリタルガ現今ハ「ヨーロッパ」諸人住居ノ積大規模ナル牛酪及乾酪製造工場存スル外ハ極メテ少

在外公館

耕作

耕作ノ面積ハ次ノ如シ

種別	面積	単位
夏期牧場	四〇七	千デシヤチン
冬期牧場	九〇九	
普通牧場	一六二九	
草刈場	一六〇	
牧用地総面積	二一〇五	
農牧適地総面積	三四七九	
夏期牧場	五七二	アルヤン
冬期牧場	二七五	
普通牧場	二八	
草刈場	五四	
牧用地総面積	一九	
農牧適地総面積	一六八	
夏期牧場	五八八	ジヤー江ヤ
冬期牧場	二〇	
普通牧場	五四	
草刈場	一一	
牧用地総面積	四五	
農牧適地総面積	一七五	
夏期牧場	一二五	計
冬期牧場	二九	
普通牧場	一六四	
草刈場	二八	
牧用地総面積	二五	
農牧適地総面積	一七五	

在外公館

3-1531

0296

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

規模ニ行ハレテ居ル。

財政年額五億布ノ乾酪ヲ生産シタルアルノミニ於テモ今ヤ益々衰微シ漸ク地方ノ需要ヲ充スニ過ギズ勢力ハル種ノ隆盛ハナイ。

牛ニ次ギ飼育盛ナルハ羊デアルガ常人種ノ一般ノ羊肉ヲ珍重スルニ依リ食用トシテモ重要ナル地位ヲ占メテ居ルガ羊毛用トシテモ重要デアル。基他羊乳ヲハ乾酪ヲ製造シ財政ニ加ヘテハ外国ニモ輸出セラレタモノデアル。羊毛モ財政ニ於テハ蕉麻ヨリ多額ノ外国商人ハ南ガ第ノ山間ニ住ム羊毛ノ買付ニ従事シ所ヨリハ由ナルモ今ハ産物モ財政ニ比

スルモ非ズ。現在行政区域内ニテハ部分的ニ農耕国ニ移リサルガ外ハ初今ハ地方ニ第ノ居料トシテ用ヒラルルトノ事デアル。

当地方ニ於ケル主要ナル羊ノ種類ハ

(イ) ツシンカ種ニ

当地方ニテハ最優秀種トシテ改良セラルルモノニテ肉ハ極メテ美味毛ハ純白ニシテ厚ク長サ三乃至四吋ニ達シ四年目ノ乃至五年目ノ毛ニシテ手触リ柔軟ナルニ依リ紡績ニハ最モ適ス。

以上セウレ現在ハ第新科方面ニモ売却サレテ居ルアガエフ種ニ

在外公館

3-1531

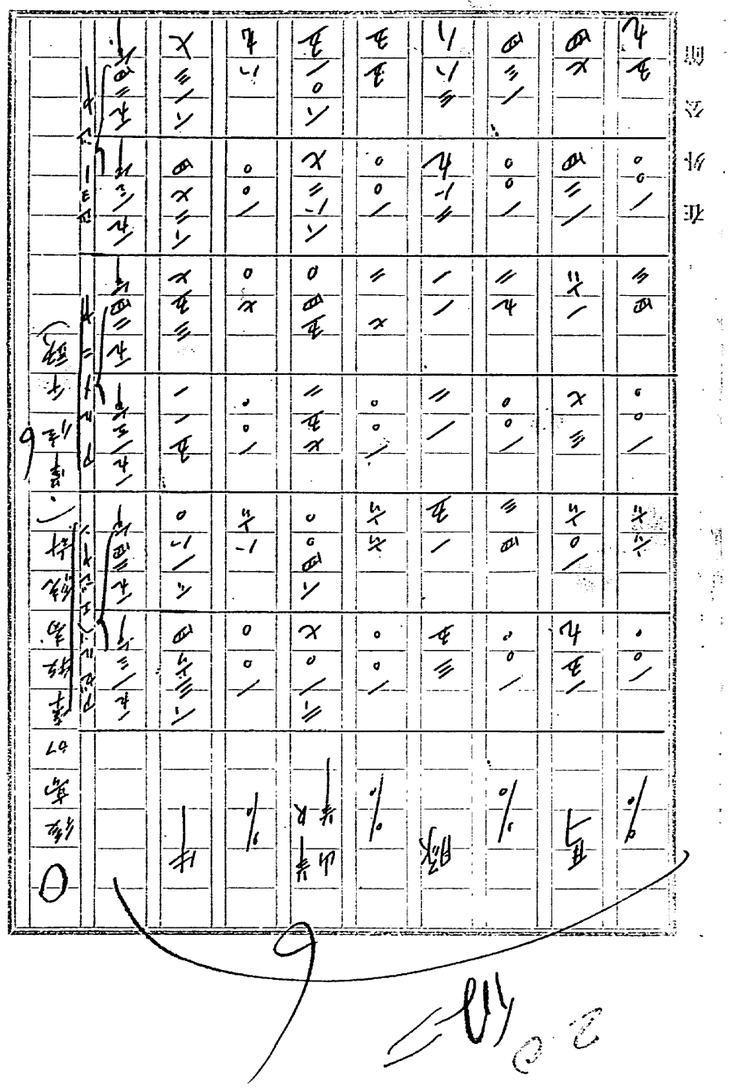
0297

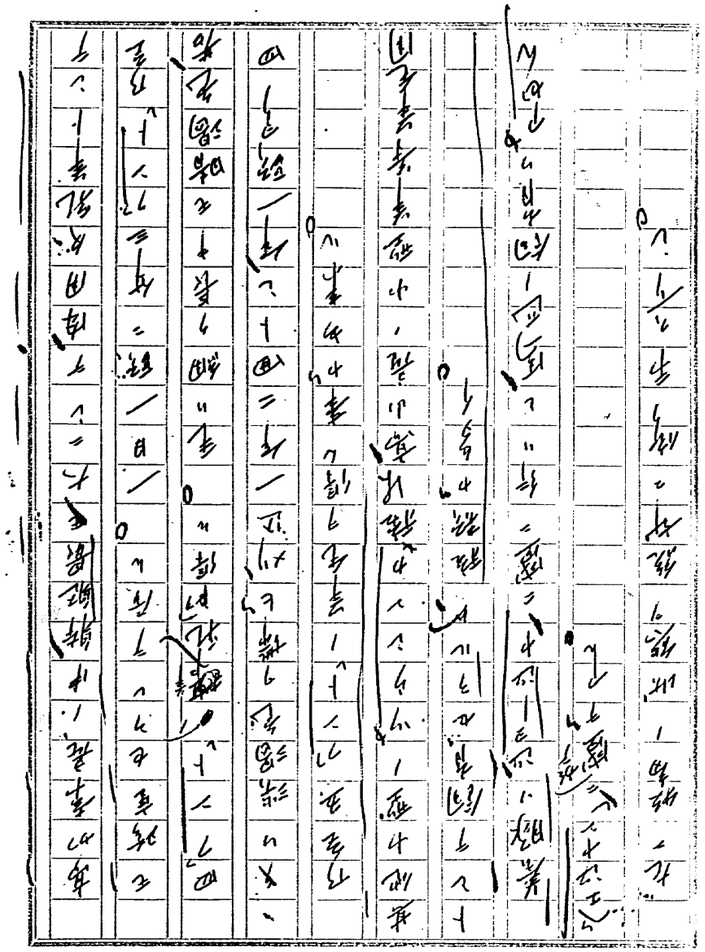
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

3-1531

0298

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp





牧畜ノ外ニ農牧業者ノ副業トシテ養鶏モ盛ニ行ハレ又養蜂モ四方ヲ行リ最モ盛ナルトコロトス

ニシテハルニ今ノ調査ニ依レハ岡山ノ養蜂戸数五万余戸ノ現ニ行ハレ居リ蜂蜜ヲ算シ一戸ニ付以上ノ蜂蜜ヲ得ル事ハ多ク

ハ一戸ニ付五十貫ノ蜂蜜ヲ得ル事ハ稀ナリ

ル。

ハ次ノ如ク

牧羊ヲ盛ニシテ主要ナル種類ハカラバツフカヤ種トカフノ外ナシ。牧一頭ノ主産ハナカ全百ニナツ
ン上牡ハ百乃至百五十ポンド上ヲ。毛色ハ一般ニ白色ナルモ時黒色ノ班点アル。毛ノ手触ハ粗剛ナルモ絨毯製織用トシテ適当ナル。又シャフセウアンカヤ種ハ丈高ナモ全リ粗硬主トシテ肉用及乳等トシテ飼育セラル。最良種トセラルヘキウシンスカヤ種ハ次ク全スチンスカヤ種ニ次ク。其他羊毛ノ特質ニ於テハウシンスカヤ種ニ多ク品質ニ於テハ種ヲ相当ノ数ニ達シテ居ル。

其他節役用牛駱駝駿馬等何レモ農用トシテ重要ナルモノデアルガ蒙服ハ住民ガ主トシテ乳車輦ナル関係上相当ナ数ヲ飼育シ乳製品殊ニ乾酪ノ製造ヲ専ラニ行ハレテ居リ乳ガ今ハ殆ト保山ノ状態ニアル。

アルナニヤ紅茶ハ山間ノ平地ニ栽培ヲ試ミタルモ殊ニ山間ノ住民ハ少数ナリテ唯一ノ生業トカテ七ツレ殊ニ山間ノ平地ニ栽培ヲ試ミタルモ殊ニ山間ノ住民ハ少数ナリテ唯一ノ生業トカテ

ハル。サレトモ欧洲大戦ニ依リ最モ甚敷悲害ヲ受ケタ。

牧羊ニ於テモ甚敷ノ程ニ達シ全国ニ亡ル

3-1531
0300
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四ヶ所ニテ政権樹立セラレ政府ノ安定ヲ見テ以来漸ク向ヒタルモ未タ十分ノ回復ヲ見ルニ至ラサリシ

牧畜ノ面積ノ現在ノ約十分ノ一カ石地及藪地多クシテ

カ能ハサリシ

牛ハ地方産ノ外滑革等地方種ナル帰国ノ命令ヲ受ケ兵役ニ

シテ屠牛ト重量五万至十万ポンドノ生牛重量一五割アリ

外国種ノ優良種若クハ交配種ハ見ル事カ出来ナイ

羊モ豚モ殆ト全部地方種ノ一モノデアル

馬匹ハ農耕ニ使役セラレスル軍ニ山間ノ峻路ニ於テ荷駄ノ運搬

ニ使用セラルルカ若クハ乗用トセラルルニ過ギズ従

元来産ノ飼育ハ盛ナラス

種類ハ多ケレトモ地方種ナルカ唯イクカノ種ト称スルノミニ過ギ

ルモノニシテ

当ノ地方政府ハ和国ノ牧畜ハ

ニヨリ改善ノ最モ重要ナル地方デアルカ牧畜

期待ニ足ラサリシ

牧牛ハ最モ重要

アルカ何レモ高カ寒暑ノ大高カ寒暑ノ為メニ作動

小産ナル為メニ

羊ハ優良種ナルカ種多ク飼育セラレ

内用トシテ羊毛用トシテモ良好ノ成績ヲ挙ケ

26
32

3-1531

0301

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

12

旦ツ多額ノ蠶種紙ヲ外国ニ輸出シタリ。一八六四年ノ蠶種紙輸出高ハ六千七百布列ヴ壱千政府ハ高ガ第一ノ養蠶業ノ衰滅ヲ極メ生糸ノ年産ハ五千万布列ヴヲ以テ此ノ産額ハ六千万布列ヴニ至ルモノニシテ一八六五年ノ蠶種紙ノ輸出ヲ禁ジ

スルニ至リタリ

斯クテ種蚕業ハ漸ク盛ンニ成レルニ伴フ桑園地ヲ開墾シ後事ハ事業者ニ任セ十年ニ百万数千万ヲ費ヤシ遂ニ五百万アル

十年ニ百万数千万ヲ費ヤシ遂ニ五百万アル

一九一四年ニ至リテハ百万ヲ算スルニ

斯クテ蚕業者ハ漸次増加シ地力養蚕業者ハ遂ニ無産者ニ陥リタリ

斯クテ蚕業者ハ遂ニ無産者ニ陥リタリ

仲介業ハ絹織技術ノ紹介ヲ絹業ノ改善発達ニ貢献スルニ大ナリシ

生糸及絹織技術ノ紹介ヲ絹業ノ改善発達ニ貢献スルニ大ナリシ

知ルニ一九〇五年ノ日露戦争ニ依リ養蚕業ヲ一時的ニ衰滅シ

一九〇五年ノ日露戦争ニ依リ養蚕業ヲ一時的ニ衰滅シ

打撃ヲ受クルニ至リシカ其後ハ発達ノ途ヲ辿ルニ至リ

大戦直前ニ於ケル高ハ実ニ一億ニ達スルニ至リタリ

年々ノ収穫ハ一般産業ト共ニ大打撃ヲ受ケ絹ハ一ヘクタアル当ニ平均一億ニ達スルニ至リ養蚕業ハ一時的ニ衰滅シ

業ハ一時的ニ衰滅シ悲運ニ陥リタリ

16
18
尚

3-1531
0303
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

15

戦前事務所ニ端ヲ発シタル蠶種紙ハ七割乃至八割ハ
少量宛ヲ来ルニ過ギザリシガ戦後ハ主トシテ蠶業地方ニ
偏在シタル為メ蠶業組合ヲ通ジテ一括シテ注文ヲ受ケ
ル種紙ハ一産ハ十箱乃至百箱ニ達シ申込ノ殺到シ
需要ハ一割乃至一割五分ニ過ギザリシ為メ
多ハ十箱ノ箱ニ事ヲ欠クモノ多シ
カヤウナル一例ヲ挙ゲテ
蠶業者数百通ニハ二三年来ニ
産ハ十箱乃至百箱ヲ超エタル
ニ対シ戦前ハ戦後ニ比スレバ甚
ダ少量ニ過ギザリシガ戦後ハ
蠶業地方ニ於テ種紙ノ

南北ノ外亦本年産ノ種類モアルガ此ノ悪疫ノ流行
ト共ニ調査スルニ至リ本ノ七月ノ午前ニ於テ
ニハ日本種ノ輸入ヲ試ミ一時高ガ本年度ニ日本種
ノ蚕繭ヲ見ルニ至リ少カラザル本年度ノ輸入以来日本ヨ
リノ輸入モ統計ノ今者此ノ日本種ノ蚕繭ニ世方ニ
行ハレテ居ル

輸出

輸出後高ガ第一期ニ於テ産額ノ中ニ於テ
ハ七千ノ内ニ於テ
其他トハ千ノ内ニ於テ
ハ七千ノ内ニ於テ
ハ七千ノ内ニ於テ
ハ七千ノ内ニ於テ

ヲ完ジテ一旦ハ上海ヲ経由輸出セラレタ。

ロシヤ政府ハ輸入ノ減少ハ輸入ノ税関ノ統計ニ依レバ仏領インドシナ
ノ輸出ハ生糸ハ八百万布ト絹屑糸ハ二千百万布
ノ輸出ハ生糸ハ千百六十万布ト絹屑糸ハ千百六十万布ト
ノ輸出ハ生糸ハ百七十万布ト絹屑糸ハ百五

19

6

養蠶ノ現況

大戰前後高価ナル養蠶ノ漸次繰糸ヲ強ヒラレ

沙中ノ後悔ニ回曜シ

戦前ノ繭ヲ完全ニ

沙中ノ政府ノ指設宜シキヲ得タ結果ニシテ

養蠶ノ増産ハ大ニ

沙ノ国ノ養蠶統計

繭生産（単位千箱）

買繭高（単位千箱）

一九二〇年 四五—四八 五〇 一七

20

6

一九二一年 五四—五五 八五 一二

一九二二年 三五—三六 五〇 二二

一九二三年 五八—六三 九〇 一〇〇

一九二四年 一〇四 一二五 八二

一九二五年 一二七 二二

一九二六年 一二二 一二

一九二七年 一四二 一二

繭生産（単位千箱）

買繭高（単位千箱）

国営製糸ノ基礎ノ買繭高（単位千箱）

養蠶ノ統計ニ依ルモ明ラカナル如ク繰糸ト進ミタル事ハ尤モ明ラカナリ

在外公館

3-1531

0306

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

21

6

| | | |